

弘前大学学報



第11回弘前大学総合文化祭 よさこい弘大

第 91 号
平成23年10月号

学内ニュース

○平成23年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式告辞	弘前大学長 遠藤正彦	1
○平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙	-----	2
○大学生の就業力育成支援事業中間発表会 及び弘前市長との車座ミーティングを開催	-----	3
○「医用システム開発マイスター」養成塾 基礎コース修了式とアドバンストコース開講式を挙	-----	4
○リンゴに関する2つの記念碑の除幕式を挙	-----	5
○医学部保健学科開設10周年記念式典及び記念講演会を挙	-----	6
○第11回 弘前大学総合文化祭「テーマ『SPREAD』」を開	-----	7
○第4回弘前大学国際シンポジウム 「白神山地から新しい自然・生物資源利用を考える」を開	-----	11
○知の拠点形成プロモーション事業 「日経ユニバーシティ・コンソーシアム」を開	-----	12
○「第6回弘前大学鷹揚さくら会」を開	-----	13

諸 会 議	-----	14
--------------	-------	----

人 事

○人事異動	-----	16
-------	-------	----

主要日誌	-----	18
-------------	-------	----

平成23年度 弘前大学及び弘前大学大学院 秋季入学式 告 辞

本日ここに、弘前大学平成23年度秋季入学式を挙げています。秋季入学者の皆さんの中には、医学部医学科2年次編入学の方も含まれておりますが、秋季入学者の皆さん、入学誠におめでとうございます。これから皆さんは、所定の在学期間に、教養・専門の学問領域を学び、人間性陶冶に努めるよう望みます。

皆さんのカリキュラムは、春季入学者とは異なったカリキュラムの基に、講義等が進みますが、春季入学者と同じ流れで進行致しますので、安心して勉学に励んでほしいと思います。

皆さんの弘前大学入学のこの時期は、我国にとりましても皆さんにとりましても、後に振り返ってみますと、歴史的に重要なポイントであったことがわかるようになると思います。言うまでもなく、東日本大震災とそれに連動した東京電力福島第一原子力発電所の放射能事故は、我国の政治・経済・産業・社会・教育とあらゆる分野に大きな影響を与え、これからの我国の様々な施策は、この東日本大震災からの復興が柱となっていますので、以前に比べれば、これから大きな変革をもたらすことになるでしょう。

折しも、この東日本大震災で延期になっていた、第4期科学技術基本計画は、この8月19日に閣議決定され、実施に移されました。これは、これから5年間の我国の科学技術の方向を示したもので、国立大学を初めとする我国の高等教育機関のあり方、特に文教政策や科学振興政策に重要な影響を与えることとなります。

この第4期科学技術基本計画の中には、環境・エネルギー・食を対象とした「グリーンイノベーションの推進」という大きな柱があります。これと共に、原子力政策の見直しと、原子力に係る安全及び防災研究、放射線モニタリング等への取組み強化が明記されております。

しかし、本学は、この第4期科学技術基本計画が策定される何年も前から、原子力産業基地としての青森県における安心・安全のため、緊急被ばく医療を担った「高度救命救急センター」、医学研究科及び保健学研究科における被ばく医療教育及び被ばく医療人材育成、また、被ばく医療の研究を行う「被ばく医療総合研究所」を立ち上げて活動しておりました。これらが、この度の福島原子力発電所放射能事故におきましては、全国の国立大学中でも、極めて高い技術と圧倒的に多い人数を被災地へ送り込むことで、全国を驚かせました。

一方、原子力発電の見直しによる自然エネルギーが注目されてみると、弘前大学には既に「北日本新エネルギー研究所」が設置されており、また放射能による環境汚染の拡大が懸念されてみると、同じく弘前大学には既に「白神自然環境研究所」が設立されていたことで、また多くの人を驚かせました。また、それ以前に既に校舎・キャンパスの環境整備、大学院の充実、電子ジャーナルや文系図書の補強による附属図書館の充実、出版会の設立、機器分析センターの機器の充実等が急速に進んだことに、学内外の関係者を驚かせました。

この度入学された皆さんは、地方大学としては珍しいほどに、第4期科学技術基本計画を先取りした形での基盤整備の進んだ本学の、すばらしい教育環境の中で勉学をすることができます。皆さんには、この利点を十分に生かして努力してほしいと願います。東日本大震災の復興にはこれから10年以上も、放射能事故関係の回復には数10年かかることが予想されます。第4期科学技術基本計画は、このことを見越して、我国の現在は、これからの我国の復興の先頭に立つ皆さんのような、文系理系の幅広い若い人材を求めています。皆さんは求められている、期待されているとの自覚に立って、これからの大学生活を送られるよう希望し、皆さんの入学式の告示とします。

平成23年10月3日

弘前大学長 遠藤 正彦

平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式を挙

平成23年度弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式が10月3日（月）事務局3階大会議室において執り行われました。

平成23年秋季の入学内訳は、次のとおりです。

○医学部医学科	20名
○理工学研究科博士前期課程	2名
○農学生命科学研究科	2名
○医学研究科	4名
○理工学研究科博士後期課程	2名
合 計	30名



23年度秋季入学者



告辞を述べる遠藤学長

大学生の就業力育成支援事業中間発表会 及び弘前市長との車座ミーティングを開催

本学では、文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」の中間報告会を、去る9月30日に弘前大学創立50周年記念会館を会場として開催しました。本学では「地域企業との対話を通して培う企画提案力」をテーマに、平成22年度から事業展開しており、学生達は地域企業の抱える経営課題を素材に、学生独自のアイデアで企画・提案を行っています。今年度は「ブライダルプランの提案」、「プロテオグリカンを使用した美容ドリンクの開発」、「弘前をPRできるお土産袋の開発」等々、これまでの取組の成果及びこれから解決しなければならない課題について、各グループが趣向を凝らして発表しました。

また、10月11日には、就業力育成支援事業の参加学生と弘前市長との車座ミーティングを開催しました。車座ミーティングは、市長と市民が市政に関して直接意見交換を行うことにより、市民との情報共有を促進し、市政に関する理解を深めてもらうために弘前市が実施しているもので、このたび参加学生が事業に応募して実施に至りました。1時間あまりの懇談の中で、葛西弘前市長は、学生たちの様々な取組について質問を交えながら興味深く耳を傾けており、学生も日頃自分たちが考えていることを率直に発言していました。

これらの発表会等の実施により、参加学生のプレゼンテーション能力をさらに高め、本学における就業力育成事業の一層の充実を目指します。



中間報告会でこれまでの取組を報告



弘前市長にプレゼンテーションする参加学生

「医用システム開発マイスター」養成塾 基礎コース修了式とアドバンストコース開講式を挙

本学では、「医用システム開発マイスター」養成塾の第三期受講生の基礎コース修了式およびアドバンストコース開講式を、このほど大学教職員、連携自治体の青森県関係者、地域企業関係者など約80名の出席を得て挙

行し、併せて、医療機器に関する記念講演会を開催しました。「医用システム開発マイスター」養成塾は、平成20年度文部科学省科学技術振興調整費（現在：科学技術戦略推進費）・地域再生人材創出拠点の形成プログラムに採択されたものです。青森県内企業技術者を対象に、医療機器・検査装置などの医用システムの開発を先導できる中堅技術者を育成することを目標としています。

半年間の基礎コースを修了した受講者7名のうち6名は、今後、一年半のアドバンストコースを受講し、「医用システム開発マイスター」を目指します。

式では、遠藤学長が「今まで培ってきた知識と技術を大いに発揮して、地域振興のために一層の発展と活躍を期待している」と式辞を述べ、受講者に基礎コース修了証を手渡しました。櫻庭青森県商工労働部部長の挨拶（佐藤青森県商工労働部次長代読）、東青森県工業会会長の祝辞に続き、アドバンストコース受講者を代表して細川啓介さんが、「アドバンストコースで課題解決能力と実践力の向上を目指す」と決意を述べました。



式辞を述べる遠藤学長



決意を述べる受講者代表

リンゴに関する2つの記念碑の除幕式を挙行

本学は、「国際リンゴフォーラム in 弘前」の開催を記念して、青森県の基幹産業であるリンゴに関する2つの記念碑の除幕式を去る10月14日（金）に本学構内で実施しました。

一つは、明治10年に西洋リンゴが最初に結実した私邸跡地が、現在の本学医学研究科敷地であったことから、同地にリンゴ産業の歴史的足跡を顕彰する「リンゴ初生りの碑」を建立し、遠藤学長、葛西弘前市長ら関係者が出席し、除幕式を行いました。

一方、「島善鄰」（元農学部教授）先生は、本学農学部（現農学生命科学部）創設の中心人物であると同時に、大正中期に本県で発生したリンゴ病害虫の駆除方法を確立し、本県のリンゴ産業の危機を救ったことから、「リンゴの恩人」と称えられた。同氏の功績を称え、本学農学生命科学部敷地内に「島善鄰先生顕彰碑」を建立し、遠藤学長、島家嗣子 島功二氏ら関係者が出席し、除幕式を行いました。



「リンゴ初生りの碑」前に立つ左から、神田理事、遠藤学長、葛西弘前市長、佐藤医学研究科長



「島善鄰先生顕彰碑」前に立つ左から、遠藤学長、島功二氏、川嶋青森県りんご研究所所長、福士青森県りんご協会会長

医学部保健学科開設10周年記念式典及び記念講演会を举行

本学医学部保健学科では、開設10周年を迎え、「弘前大学医学部保健学科開設10周年記念式典及び記念講演会」を10月17日（月）、弘前大学医学部コミュニケーションセンターで举行了。

本学医学部保健学科は、医学部附属の看護学校、助産婦学校、臨床検査技師学校、診療放射線技師学校の改組に理学療法学科及び作業療法学科が加わり、昭和50年に設置された弘前大学医療技術短期大学部と、昭和43年設置の弘前大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程を起源とし、平成12年10月に弘前大学医学部保健学科として発足しました。記念式典には学内外からの関係者ら約100名が出席。佐藤医学部長が式辞を述べた後、村田文部科学省高等教育局医学教育課長（代読：伊東文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐）及び三村青森県知事（代読：山中青森県健康福祉部医師確保対策監）から、本保健学科がこれまで国民、県民の健康と福祉に貢献できる医療従事者の育成を着実にやってきたこと、近年では多くの原子力関連施設が立地する青森県において、緊急被ばく医療に対応する人材の育成に力を注いできたことなどに言及しながら、祝辞が述べられました。

続いて行われた記念講演会では、遠藤学長が「弘前大学医学部保健学科の10年の歩みとこれからの展望」と題して講演を行い、保健学科開設までの苦労話からこれまでの歩みを紹介しながら、保健・医療系大学は今後ますます競争が激しくなること、本保健学科の差別化や特徴を明確にすべきであり、被ばく医療を教育・研究の柱の一つに加えて頑張りたい、と呼びかけました。

また、記念講演会終了後には、祝賀会が開催され、対馬保健学科長のあいさつに続き、花田医学部附属病院長による乾杯が行われました。祝賀会では、県内保健医療系高等教育機関や保健医療系職能団体など関係者によるスピーチ、また、開設当時を知る保健学科退職教員らと同学科の教員による交流などにより、開設10周年を祝いました。



記念式典で式辞を述べる佐藤医学部長



祝辞を述べる伊東医学教育課課長補佐



記念講演を行う遠藤学長



熱心に耳を傾ける出席者

第11回 弘前大学総合文化祭 「テーマ『SPREAD』を開催

第11回弘前大学総合文化祭が10月21日（金）から23日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ『SPREAD』は、総合文化祭に関わる人々の楽しさや、エネルギー等が来場された方に広まって欲しいという想いから掲げられました。さらに、『SPREAD』には、その頭文字を取り、Smile, Peace, Relaxation, Energy, Amusement, Dream の意味が含まれています。笑顔、親睦、やすらぎ、活力、楽しさ、夢を来場された方にふりまき、ひいては東北全体、日本全体に広がるように、という願いが込められています。

オープニングフェスティバルでは、集まった大勢の観客を前に総合文化祭推進委員会委員長の遠藤学長が声高らかに開祭宣言し華々しくスタートしました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や実験を直接体験できる「サイエンスの招待」をはじめとし、様々な研究発表がありました。さらに、「よしもと芸人お笑いライブ」も開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。また、教職員の芸術作品を展示した「職員芸術・造形作品展」や県内各地から計8チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」、文京町キャンパスを舞台に熱戦が繰り広げられた「駅伝大会」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「Let's enjoy BINGO!」や「ベストペア☆決めま SHOW!」、「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物販売、りんごジュース無料試飲会」や、青森で採れた海と山の幸の紹介及び販売を行った「鱈ヶ沢物産展フェア」にも多くの来場者が訪れていました。

本学後援会からの助成によるキャンパス内外を彩る幟、提灯も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。主な催しは次のとおりです。

【全学イベント】

- Opening Festival
- 職員芸術・造形作品展
- 東日本大震災の記録～弘前大学から被災地へ～
- よさこい弘大
- 駅伝大会
- Final Festival
- 学長主役イベント
- 花火

【学術文化祭イベント】

○人文学部

- ・亀ヶ岡文化センター特別展『北日本の木の文化史』
- ・雇用政策研究センター研究成果公開
- ・市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判

-
- 教育学部
 - ・「グラスハーブの演奏と音に関する実験学習」
 - ・スポーツフェスティバル 2011「遊びのバイキング」
 - 医学研究科
 - ・最新の医療について（①脳卒中、②災害医療）
 - 医学部附属病院
 - ・市民公開講座「気づいてますか？こころの SOS」
 - 保健学研究科
 - ・市民公開講座「学んでみよう放射線」
 - ・緊急被ばく医療に対する取り組みの紹介
 - 農学生命科学部
 - ・公開講座「農業廃棄物から宝物を探す」
 - 地域社会研究科
 - ・地域を考えたの 10 年～教員・院生討論会
 - 北日本新エネルギー研究所
 - ・新しいエネルギーで青森の未来を快適に
 - 白神自然環境研究所
 - ・白神山地の自然とその利用
 - 地域共同研究センター
 - ・産学連携特別講演会ー弘大 GOGO ファンド成果発表ー

【弘大祭 オフィシャルイベント】

看板男子コンテスト～男気ふりまけ！きらめき☆タイム～

弘大グルメ王選手権

Let's play the BINGO !

☆ The Performers ☆

Rock Festa-arrival-

“逆” 運試し

よしもと芸人お笑いライブ

看板娘コンテスト～華ふりまく姫君たち～

なりきり！コスプレショー

弘大カラオケ王者決定戦

ベストペア☆決めま SHOW !

秋のイントロ祭

大抽選会

ソフトボール大会 2011

【学部祭】

人文祭

教育祭

医学祭

理工祭

収穫祭



遠藤学長の開祭宣言



来場者で賑わうキャンパス



ソフトボール大会



看板男子コンテスト



弘前大学 YOSAKOI サークル「焰舞陣」による華麗な演舞



駅伝大会



一日幼稚園の様子（教育祭）



医学展の様子



津軽三味線サークルによる模擬店



学長主役イベント



Final Festival

第4回弘前大学国際シンポジウム 「白神山地から新しい自然・生物資源利用を考える」を開催

本学白神自然環境研究所では、10月25日（火）に創立50周年記念会館みちのくホールで、第4回弘前大学国際シンポジウム「白神山地から新しい自然・生物資源利用を考える」を開催しました。

シンポジウムには、本学と協定校である中国・延辺大学の他、ロシア・極東国立農業大学の研究者をはじめ、国内の研究者らを招き、職員、学生及び市民ら約100名が参加し、新しい生物資源利用の可能性について理解を深めました。

シンポジウムに先立ち、主催者側を代表して遠藤学長から開会挨拶があり、引き続き来賓の挨拶後、白神自然環境研究所長の佐々木教授と延辺大学理学院の尹炳柱教授がそれぞれの研究所での取り組みを紹介しました。

第Ⅰ部では「白神山地の環境特性」について弘前大学の教員4名が白神山地における動植物や気候変化、人々の暮らしの関わり等について講演しました。第Ⅱ部では「長白山周辺地域の生物とその利用」について延辺大学の教員5名が受粉昆虫やきのこ類等についての講演が行われました。

また、第Ⅲ部では「ロシアと日本での自然利用の新たな視点」について、極東国立農業大学と北海道大学の教員がロシアの農業事情や知床世界自然遺産におけるエコツーリズム等について講演が行われました。

続いてのパネルディスカッションでは、「極東アジアの豊かな自然を活用し、未来に残していくには」というテーマで日本・中国の研究者らによる活発な議論が展開されました。



延辺大学 尹成日氏による講演の様子



パネルディスカッションの様子

知の拠点形成プロモーション事業 「日経ユニバーシティ・コンソーシアム」を開催

本学では、10月26日、東京都千代田区大手町の日経ホールを会場とし、知の拠点形成プロモーション事業「日経ユニバーシティ・コンソーシアム『地域活性化を担う人材育成～世界自然遺産白神山地の自然のもとで育つ人・産業～』」を開催しました。

これは、世界自然遺産白神山地の豊かな自然を背景に、本学と包括協定を締結している弘前市が地域資源を生かした人材育成、地域産業の振興、東日本大震災復興への取り組みなどの情報発信を目的とし、日本経済新聞社との共催で行ったものです。

遠藤学長の開会の挨拶、葛西弘前市長及び佐々木白神自然環境研究所長の基調講演に続いて、キャスター・エッセイストの福島敦子氏をコーディネーターに迎え、涌井雅之氏（造園家、東京都市大学教授）、見並陽一氏（東日本旅客鉄道 常務取締役）、葛西弘前市長、遠藤弘前大学長の5名により、『豊かな自然がはぐくむ地域産業と人材育成』をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。267名の聴衆を前に、先人が築いた弘前の歴史をふりかえるとともに、激動する社会情勢の中で人材育成や地域産業の振興に向けた取り組み、世界自然遺産白神山地を有する津軽地域の活力を、広く発信しました。



主催者を代表し開会の挨拶をする遠藤学長



パネルディスカッションの様子

「第6回弘前大学鷹揚さくら会」を開催

本学では、同大に勤務した事務系・技術系職員と現職員の交流を目的として「第6回弘前大学鷹揚さくら会」を同大学創立50周年記念会館「みちのくホール」で10月28日に開催しました。

総会では名誉会長の遠藤学長の挨拶に続いて、会長の江羅財務・施設担当理事（事務局長）から「弘前大学この一年のあゆみ」と題して講演が行われました。

引き続き、2階「岩木ホール」に場所を移して行われた懇親会では、遠藤学長、OBを代表して吉田前学長が挨拶し、小川元財務・施設担当理事の発声で乾杯した後、集まった約80名の参加者は本学での思い出などで和やかに懇談し旧交を温めました。

会には、吉田前学長、小川元財務・施設担当理事のほか、大学側から、遠藤学長、江羅財務・施設担当理事を含む理事、部課長、その他在職者が参加し、大学の現状等についても意見交換を行いました。

また、当日は本学が世界自然遺産白神山地の裾野に開園した白神自然観察園で、佐々木白神自然環境研究所長と中村准教授がガイド役を務める「白神自然観察園見学ツアー」が催され、遠藤学長を含むOB及び現職員24名が白神自然環境研究所で昼食の後、爽やかな秋晴れのもと、遊歩道の落ち葉を踏みしめて園内にある「不識の塔」までの散策を満喫しました。



1年ぶりに再会した面々



「白神自然観察園見学ツアー」で中村准教授から説明を受ける遠藤学長

■ 諸 会 議

▼役員会

10月 4日（火）

審議事項

- 1 弘前大学学術特別基金に関する要項の制定について
- 2 平成24年度学生募集要項（一般入試）（案）について

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学経営協議会委員の選出について
- 2 国立大学法人弘前大学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 3 平成24年度概算要求事項について
- 4 平成23年度科研費の交付について

10月17日（月）

審議事項

- 1 平成23年9月の人事院勧告が実施された場合の本学の取扱いについて
- 2 平成24年度学生募集要項（一般入試）（案）について

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
- 2 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

10月24日（月）

審議事項

- 1 平成23年9月の人事院勧告が実施された場合の本学の取扱いについて
- 2 土地「深浦ハウス敷地」の寄附受入について

報告事項

- 1 平成22事業年度財務諸表の承認について
- 2 弘前大学学生会館広場ステージ使用要項の制定について
- 3 「地域イノベーション戦略推進地域」への青森県提案の選定について
- 4 平成23年度補正予算（第3号）について

10月31日（月）

審議事項

- 1 弘前大学国際交流センター規程の改正について
- 2 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
- 3 平成23年度の業務運営に関する計画（年度計画）の変更について

報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

▼教育研究評議会

10月11日（火）

審議事項

- 1 経営協議会の学外委員について
- 2 平成24年度学生募集要項（一般入試）（案）について

報告事項

- 1 教員の人事について
(1) 教員の採用・昇任
 - 2 総合文化祭の実施について
-

-
- 3 自転車の盗難防止について
 - 4 弘前大学学術特別基金に関する要項の制定について
 - 5 平成23年度科研費の交付について
 - 6 各種シンポジウムの開催について
 - (1) 第3回弘前大学国際シンポジウムの開催について
 - (2) 第4回弘前大学国際シンポジウムの開催について
 - (3) 平成23年度弘前大学研究成果公開シンポジウム「東日本大震災復興に向けた弘前大学の研究展開」の開催について
 - 7 委員会等報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 入学試験委員会
 - (4) 第4次臨時入学試験改善委員会
 - (5) 研究・産学連携委員会

▼教育・学生委員会

10月2日（水）

審議事項

- 1 平成23年度FD活動について
- 2 平成23年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 3 除籍学生の再入学について
- 4 教育課程編成・実施の方針及び学位授与の方針について
- 5 入学検定料の免除について

報告事項

- 1 第32回全国国立大学学生指導担当副学長協議会について
- 2 平成23年度前期学生による授業評価アンケート実施結果について
- 3 平成24年度授業開始までの日程について
- 4 平成23年度後期学期途中の学生による授業評価アンケートについて
- 5 公開授業・検討会について
- 6 弘前大学総合文化祭の実施について
- 7 平成23年度前期懲戒処分について
- 8 自転車の盗難防止について
- 9 防災訓練の実施について
- 10 大学会館広場ステージの使用について
- 11 平成24年度大学院予約採用推薦数について
- 12 平成23年度秋季入学者入学科徴収猶予について

▼研究・産学連携委員会委員会

10月12日（水）

報告事項

- 1 弘前大学学術特別基金に関する要項の制定等について
 - 2 平成23年度科研費の交付について
 - 3 第4回弘前大学国際シンポジウムの開催について
 - 4 第9回産学官連携功労者表彰（農林水産大臣賞）の受賞について
 - 5 地域共同研究センター運営委員会の報告について
-

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日		加藤 愛美	事務職員(教育)
平成23年10月1日		仁平 政人	講師(教育)
平成23年10月1日		井上 卓	助教(医) [28.9.30まで]
平成23年10月1日		横田 貴志	助教(医) [28.9.30まで]
平成23年10月1日		岩根 かほり	助手(医) [28.9.30まで]
平成23年10月1日		横田 恵	助手(医) [28.9.30まで]
平成23年10月1日		川添 郁夫	講師(保)
平成23年10月3日		柏崎 愛子	養護教諭(教育・特支) [24.3.31まで]
平成23年10月16日		山本 征法	助教(理工)

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	助教(医)	佐々木 伸也	助教(医) [28.9.30まで]
平成23年10月24日	教諭(教育・附小)	齋藤 美奈子	教諭(教育・附小) [24.3.31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	准教授(地域共同研究センター)	内山 大史	教授(地域共同研究センター)
平成23年10月1日	助教(医)	高畑 武功	講師(医) [30.9.30まで]
平成23年10月1日	助教(病院)	南場 淳司	講師(病院) [30.9.30まで]

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	経営企画グループ係長(病院・経企)	奈良 昌晃	管理情報グループ係長(財務・財管)
平成23年10月1日	管理情報グループ係長(財務・財管)	福士 智久	経営企画グループ係長(病院・経企)
平成23年10月1日	管理情報グループ主任(財務・財管)	花田 耕	総務グループ主任(財務・財企)
平成23年10月1日	人事グループ主任(総務・人事)	木立 朝道	総務グループ主任(医)
平成23年10月1日	職員グループ主任(総務・人事)	浦田 俊一	経営企画グループ主任(病院・経企)
平成23年10月1日	事務職員(病院・総務)	藤林 宗	事務職員(総務・人事)
平成23年10月1日	事務職員(病院・経調)	藤田 康寛	事務職員(財務・財企)
平成23年10月1日	事務職員(財務・財企)	嶋田 雅史	事務職員(財務・予企室)
平成23年10月1日	事務職員(理工)	舘田 康貴	事務職員(医)
平成23年10月1日	事務職員(医)	坂本 啓	事務職員(病院・総務)
平成23年10月1日	事務職員(理工)	石岡 知之	事務職員(病院・経調)
平成23年10月1日	事務職員(財務・予企室)	古川 和佳子	事務職員(理工)
平成23年10月1日	事務職員(総務・人事)	櫻田 和享	事務職員(理工)

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	教授(医)	土田 成紀	アイソトープ総合実験室長 [25.9.30まで]

[職務付加]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	助教(病院)	佐々木 伸也	学校医(保健管理センター)

[免除]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月20日	総務部長事務取扱	江 羅 茂	免除

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月3日	准教授(教育)	増田 貴人	平成23年10月27日まで
平成23年10月15日	看護師(病院・看護部)	廣田 仁美	平成25年3月31日まで
平成23年10月27日	看護師(病院・看護部)	長谷川 結香	平成25年3月31日まで

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	柏崎 弓美	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	小林 明子	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	榊 妃呂子	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	戸田 貴子	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	船水 信后	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	蒔苗 文子	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	山下 聡子	育児休業より
平成23年10月1日	看護師(病院・看護部)	山田 朋子	育児休業より
平成23年10月2日	助教(医)	丹羽 英智	研究休職より
平成23年10月8日	看護師(病院・看護部)	白戸 直子	休職より
平成23年10月28日	准教授(教育)	増田 貴人	育児休業より

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成23年10月31日	助手(医)	舘山 俊太	辞職
平成23年10月31日	助手(病院)	岡本 哲平	辞職

■ 主要日誌

- 10月2日 教育・学生委員会
- 3日 弘前大学及び弘前大学大学院秋季入学式
- 4日 役員会
- 5日 弘前大学名誉教授との懇談会
- 11日 教育研究評議会
弘前市長との車座ミーティングを開催
- 12日 研究・産学連携委員会委員会
- 14日 「医用システム開発マイスター」養成塾基礎コース修了式・アドバンストコース開講式
- 17日 役員会
医学部保健学科開設10周年記念式典・記念講演会
- 21日 総合文化祭
- 22日 総合文化祭
- 23日 総合文化祭
- 24日 役員会
- 25日 第4回弘前大学国際シンポジウム「白神山地から新しい自然・生物資源利用を考える」
- 26日 知の拠点形成プロモーション事業「日経ユニバーシティ・コンソーシアム」
- 28日 第6回弘前大学鷹揚さくら会
- 31日 役員会

弘前大学学報第91号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111